

防災アンケート実施結果

宗像消防署 赤間出張所



宗像消防署赤間出張所では、管内の小中学校の保護者様向けに、災害について不安なことを聞き出し、不安なことを直接解決できる取り組みとして防災アンケートを実施しました。

その結果、たくさんの意見をお聞きすることができました。

このスライドでは災害時の不安を一つでも解決できる解決策をお伝えします！

目次

アンケートで問い合わせが多かった不安な項目に対しての解答をまとめています。
気になる項目をタップするとリンク先まで移動します

- | | | | |
|---|-----------------------------------|----|--------------------------------------|
| 1 | <u>子どもが心配</u> | 8 | <u>要配慮者等の避難</u> |
| 2 | <u>宗像市からの情報提供</u> | 9 | <u>家の耐震強度</u> |
| 3 | <u>緊急時の連絡手段</u> | 10 | <u>その他の災害</u> |
| 4 | <u>避難方法</u> | 11 | <u>災害時の犯罪</u> |
| 5 | <u>避難所について</u> | 12 | <u>地域の連携について</u> |
| 6 | <u>医療関係</u> | 13 | <u>フローチャート作成について</u> |
| 7 | <u>備蓄品について</u> | 14 | <u>ペットとの避難について</u> |
| | | 15 | <u>避難情報</u> |

子どもが心配



- ・ 子どもだけで避難できるか心配。
- ・ 大人1人で子どもを守れるか心配。
- ・ 子どもに防災について学んでほしい。
- ・ 通学中に被災した時注意することは？

解答は次ページ

子どもが心配

- ・子どもには繰り返し**家庭内で防災教育**をおこなってください。
避難場所はどこか。緊急連絡はどうすればいいのか。
ぜひ、**宗像市防災マップ**を活用して防災力を高めてください。
- ・登下校中に地震が発生したらブロック塀の倒壊を予想しブロック塀から離れる。
大雨時は側溝に近づかない等の注意事項も教えておくといいでしょう。
- ・また、災害時に共助（**近所住民での助け合い**）できる関係づくりをしておきましょう。

宗像市からの 情報提供



- ・冠水している情報、通行止めとなっている情報を早く知りたい。
- ・避難場所が防災マップ上で安全な場所ではなかった。

解答は次ページ

宗像市からの 情報提供

災害情報を把握するために

- ・ **防災情報ダッシュボード** | 宗像市防災ホームページ (munakata.lg.jp)

→ <https://experience.arcgis.com/experience/3038fd2d215a4b579e2c7bbec86c09b4/>
避難所開設情報、避難者数や被害状況及びカメラも確認できます。

- ・ **宗像市防災マップ**
(防災Webマップ、3Dハザードマップ) | 宗像市防災ホームページ (munakata.lg.jp)

→ <https://experience.arcgis.com/experience/26eda90ec7bb49cf8e0fd3dcee9d2d8a/>
災害別にどの程度危険か予測されているかを知ることができます。

スマホにリンクを保存してすぐに見れるようにしておきましょう。

災害情報の伝達方法

市民の皆さん

ご自身で
情報収集



インターネット・SNS

- 関係機関ホームページ
- ライブ配信サイト
- スマホアプリ
- SNS

テレビ・ラジオ

- dボタンのデータ放送
- テレビのテロップ
- ケーブルテレビ
- ラジオ

電話

- 宗像市
- 警察・消防
- 海上保安庁

自治体から
情報発信



メールなど



- [緊急情報伝達システム](#)
- [防災メール・まもるくん](#)
- 緊急速報メール

その他

- 防災行政無線
- 広報車

緊急時の連絡手段



- ・ 安否確認の方法がわからない。
- ・ はぐれた家族と会えるか心配。

解答は次ページ

緊急時の連絡手段

- ・災害時は電話が不通になってしまい、家族の安全確認ができないこともあります。

あらかじめ集合場所を決めておくのも一つの手です。

家族で集まる時に話し合しましょう。

また、災害用伝言サービスもあります。**事前に利用方法を確認**しておきましょう。

- ・ NTT西日本災害用伝言ダイヤル 1 7 1 <https://www.ntt-west.co.jp/dengon/>
- ・ 災害用伝言版（WEB 1 7 1） <https://www.web171.jp/>

避難方法



- 車で避難してはいけないの？
- 妊娠中の避難方法が不安。

解答は次ページ

避難方法

- ・避難に関しては、歩ける方は**基本徒歩**でお願いします。
車を使用すると渋滞を引き起こし、緊急車両の活動に支障をきたす場合があります。
- ・妊娠中は行動に制限がつくため、より一層情報収集が大切です。
- ・住んでいる地域に大雨や台風の前報があるのであれば**早期避難**できるようにしましょう。
また、地震に直面したときのために家具等を固定しましょう。
屋外にいる場合はガラスや街灯で怪我をする可能性がありますので頭上に特に注意して下さい。
屋内屋外ともに揺れがおさまってから安全なひらけた場所へ移動して下さい。

避難所について



- ・ 避難所の収容人員を超えるのではないかな？
- ・ 避難所より自宅のほうが防災マップを見ても安全だから避難所に行かなくてもよい？
- ・ 自宅避難者には支援物資はあるのかな？
- ・ どこに避難をすればいいのかわからない。

解答は次ページ

避難所について

- ・宗像市には「指定避難所」と呼ばれる市が定めた避難所があります。
各避難所のキャパシティはそれぞれであり、収容人員が決まっています。

現状では**避難所は5640人の受け入れ体制を確保**しています。

[宗像市地域防災計画の資料編P.63](#)（クリックすると宗像市地域防災計画の資料編に移動します）にて利用の可能性がある避難所の収容人員を確認してください。

- ・避難所に行かないほうが安全であると判断すれば避難所に行く必要はありませんが、大規模災害により行政機能がストップしたり、地震時には倒壊してしまう恐れもあるので、避難所に向かったほうがいい場合もあります。

そのためにも、**避難所も含めて様々な情報を確認して準備**してください。

医療関係



- ・服用している薬が避難所に供給されるのか。
- ・準備していた薬がなくなった場合、どこかで入手できるのか。
- ・災害時でも持病があるのでかかりつけ医に見てもらいたい。
- ・病院などは機能するか不安。
- ・応急手当について学びたい。

解答は次ページ

医療関係

宗像市ではかかりつけ医を避難所に呼ぶという対応はしておらず、薬の調達などの取り決め事項なども決まっていません。ですが、大規模災害時には医師の派遣を要請するようになっています。そのため、服用中の薬がスムーズに伝えられるよう、おくすり手帳を**持ち出しやすい場所に置いておく**などの対策をしておく必要があります。

しかし、必ずしも避難所や在宅避難中に薬が供給できるとも限らないので日頃より手持ちの薬を切らさないよう、ほかの備蓄品と一緒に準備しておくことが大切となります。

医療関係

- ・病院は災害時拠点となりますので、非常電源などの設備も充実しています。

～救命講習の紹介～

宗像地区消防本部では定期的に救命講習会を実施しております。

応急手当について興味がある方は宗像地区消防本部のホームページを確認の上
受講申し込みをお願いします。

→ http://www.munakata119.jp/q_test1.html

備蓄品について



- ・ガソリンの確保が不安。
- ・何日分の備えが必要なのか？
- ・備蓄品にアレルギー物質は含まれてるの？
- ・生活機能が麻痺することが怖い。

解答は次ページ

備蓄品について

- ・住民拠点サービスステーションといい自家発電機設備を備え、災害時でも地域住民の方々が給油できるガソリンスタンドが**宗像市内で7箇所**あります。
※ただし、災害による設備の損壊などでやむを得ない事由により、給油できない場合があります。災害に備えガソリンをこまめに給油し、**常に満タン**にしておくのが最適でしょう
- ・災害時は**ライフラインの確保は難しい**と考えて下さい。
災害の程度により、すぐに家に戻れない場合がありますので、ご自身に合う**防災グッズ（最低3日分）準備**しましょう。
泥水を濾して生活用水にできる器具や、簡易トイレの種類も豊富になってきた印象があります。
- ・避難所に備蓄食料はありますが、限りがあります。また、長期保存可能な食品が選定されていますが、アレルギー物質が含まれている場合もありますので、ご自身で準備して少しでも負担やストレスを軽減できるように備えましょう。

要配慮者等の避難



- ・ 集団生活が難しい人はどうするの？
- ・ 安心できる過ごせるスペースはあるの？

解答は次ページ

要配慮者等の避難

- ・ 高齢者、障がいのある方、難病、アレルギー疾患、その他慢性疾患、妊産婦、乳幼児、外国人は要配慮者としてそれぞれに合わせた支援が宗像市防災計画によって定められています。
避難生活にあっては一般的な避難所では以下のような支援が考えられています。

■避難所の要配慮者への支援内容	
ケアサービスリストの作成	<ul style="list-style-type: none">○ 必要な介護・介助要員の種別、人数○ 必要な介助用具（車椅子、つえ等）の種別、数量
必要な設備等の確保・設置	<ul style="list-style-type: none">○ 踏み板等の設置による段差の解消○ 簡易ベッド○ パーティション（間仕切り）○ 車椅子、紙おむつ、障がい者用携帯トイレ等
要配慮者専用スペースの確保	<ul style="list-style-type: none">○ 少人数部屋への割り当て○ 冷暖房、トイレ等への配慮
生活支援措置	<ul style="list-style-type: none">○ 適温食と高齢者、乳幼児、外国人、妊産婦、食事管理を要する者等に配慮した食事の供給○ ホームヘルパー等の派遣、介護
広報支援措置	<ul style="list-style-type: none">○ 掲示板の設置、手話通訳の派遣○ ボランティアによる個別情報伝達

要配慮者等の避難

福祉避難所といった要配慮者向けの避難所が開設されることもあり、協定を結んでいる福祉施設もあります。

ただし、誰でも急に避難できるわけではないので、まずは**指定避難所に避難**していただきます。その後市保健師が福祉避難者への避難が好ましいと判断した方がいる場合は、市から福祉避難所施設へ要請し、受け入れ態勢が整い次第、移動してもらうといった想定をしています。

協定先（今回アンケート対象区域内に限る）

よりあいの家、あいでい富地原、赤間病院、城山庵、むなかた苑、特別養護老人ホームあかま、はまゆうワークセンター宗像

家の耐震強度



- ・ 自宅の耐震強度が気になる。
- ・ 今のうちにできる地震対策は？
- ・ 耐震強度が高い家に住んでいる場合は避難する必要がありますか？

解答は次ページ

家の耐震強度

- ・ 様々な理由で屋内避難をする可能性があると思いますが、安心して過ごすために **耐震強度の高い家に住む事**や**家具が倒れないように固定**する等の対策が大事になります。

もし、ご自身の安全が確保され、避難所に行かないという選択をしたとしても災害前のように物資が確保されるとは限りませんのでより一層の備えが必要になります。

- ・ 現在の自宅の耐震強度を知りたい方は、有償となりますが、専門機関に調査のお願いをしてください。
条件を満たせば耐震改修工事費補助制度を申請できる場合があります。

その他災害



- 就寝中の火災が怖い。
- 雷雨の時、傘はさしていいのか？

解答は次ページ

その他災害

- ・火災発生にいち早く気づくために**住宅用火災警報器を設置**して、定期的に点検をおこなしましょう。
- ※住宅用火災警報器の寿命は**約10年**です。
住宅用火災警報器については総務省消防庁のHPより
→https://www.fdma.go.jp/relocation/html/life/yobou_contents/qa/#01
また、火災が拡大した場合は隣近所に火事であることを伝え、逃げ遅れがないように注意しましょう。
- ・雷が発生しているときに傘をさすのは危険ですのでやめてください。
雷から身を守るために屋外に出ないようにしましょう。
また、外出中に雷に遭遇したら建物の中に避難してください。

災害時の犯罪



- 避難場所での犯罪対策について。
- 災害時の治安の悪化が不安。
- 被災した自宅の防犯面が不安。

解答は次ページ

災害時の犯罪

- ・過去の災害では、混乱に便乗した**窃盗、詐欺、性犯罪**が発生しています。警察は、東日本大震災への対応を教訓とし、大規模災害発生時における広域的な部隊運用の拡充を図るため、平成24年5月より、即応部隊（約1万人）と一般部隊から構成された警察災害派遣隊を編成し、犯罪の予防・取締りを強化しています。
- ・また、災害時は犯罪が起きやすい環境という事実を多くの方に知ってもらい、**子どもを一人で行動させない**といった対策が必要になります。
- ・避難所生活が長期化する場合は原則、地域住民（避難者）が主体となって避難所を運営するためその中でパトロール担当者を定めるなどの対策が必要となります。

地域の方との 連携について



- ・ 近所の高齢者が災害時に避難できるかが心配。
- ・ 地域の災害担当の方との連携が知りたい。
- ・ 子どもと自身の親とも同居しており、私一人の時にどこまで対処できるか心配。
- ・ 共同住宅で災害が起こった時の対処方法が構築されているのかわからない。

解答は次ページ

地域の方との 連携について

- ・大規模災害では**住民同士の助け合い**が大切です。
自身の安全を確保しながら周囲の方へ避難を呼びかけることも大切になります。
また、災害時に支援が必要な人「**避難行動要支援者名簿**」の登録をしていれば、災害情報などの伝達や、避難支援などができる体制づくりを宗像市役所危機管理課が実施しています。
- ・マンション内などの共同住宅に住んでいる方は管理組合で避難訓練を実施している場合もあります。
住民同士や管理組合で話し合い、**防災訓練を提案**し、実施してみてください。

フローチャート 作成について



- ・ 災害の時に大人一人で子どもを連れて避難する目安のフローチャートなどがあれば知りたい。
- ・ 避難のタイミングがわからない。

解答は次ページ

フローチャート 作成について

フローチャートはありませんが似たようなもので、**マイタイムライン**というものがあります。
宗像市の防災マップにもそのセクションがあります。
お住まいの地域・環境によって避難のタイミングは変わってきますので各自で家族等と話し合っ
てマイタイムラインを作成してください。

※マイタイムラインとは住民ひとりひとりの**防災行動計画**であり、台風等の接近による大雨
によって、河川の水位が上昇するときに自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、
自ら考え命を守る避難行動のための一助となるものです。

ペットとの避難



- ペットは避難場所に連れて行けるのか。
- ペットとの避難場所はどこか。
- 避難場所に連れていく際の注意点は？
- 避難場所にペットのエサや水はある？

解答は次ページ

ペットとの避難

ペットも一緒に避難する際は、早めに**危機管理課**まで連絡してください。

TEL : 0940-36-5050

全ての避難所で受け入れを想定していますが、避難所の状況により、ペット同伴での避難ができないケースもありますので避難する前に危機管理課までご連絡してください。

避難所では、ペットは**各自で用意したペットケージ**に避難させ、避難者のスペースとは別のスペースで過ごすことになります。

避難所でペットとの生活に必要なものは**各自で持参**してください。そのためペットも人間と同じように事前の備蓄が必要となります。

避難情報



- 避難情報をいち早く受け取りたい。
- 地域の被害情報が知りたい。
- 避難のタイミングが分からない。

解答は次ページ

避難情報

宗像市は防災**情報ダッシュボード**という災害時の情報共有を目的として、災害時における被害情報共有システムを作成しています。災害時のさまざまな情報をリアルタイムで確認できるツールとなっていますので是非ご活用ください。

確認できること

- ・ 宗像市の避難所開設状況
- ・ 被害状況
- ・ 宗像市の防災カメラ（河東、赤間駅前、東郷、田久2箇所（ビバモール付近、森都病院付近）

こちらで**冠水**に関する情報なども発信するほか、宗像市防災ホームページでも災害時には随時更新します。

宗像市防災マップにおける危険度は災害によって異なります。それぞれの災害に沿った避難場所を確認してください。

避難情報

災害情報を把握するために

- ・ **防災情報ダッシュボード** | 宗像市防災ホームページ (munakata.lg.jp)

→ <https://experience.arcgis.com/experience/3038fd2d215a4b579e2c7bbec86c09b4/>

避難所開設情報、避難者数、被害状況、お知らせ上記カメラも確認できます。

- ・ **宗像市防災マップ**

(防災Webマップ、3Dハザードマップ) | 宗像市防災ホームページ (munakata.lg.jp)

→ <https://experience.arcgis.com/experience/26eda90ec7bb49cf8e0fd3dcee9d2d8a/>

災害別にどの程度危険か予測されているかを知ることができます。

スマホにリンクを保存してすぐに見れるようにしておきましょう。

避難情報

避難するタイミングは一概に「今」とは言えません。

身の危険を感じたのであれば、その時が「今」です。

前スライドで記載した宗像市防災情報ダッシュボードや、防災マップを駆使して「今」をいつでも判断できるようにしておくことが必要です。